

「集団登山 上級指導者研修会」(H30.7.14(土)~16(月))



目的

青少年の集団登山においてリーダー的な役割を担う指導者等が、危険箇所の通過方法や危急時のセルフレスキューなど、安全な集団登山に必要な知識と技術を身につける。

参加実績 (募集 20 名)

参加 5 名

- ・高校教諭 1 名
- ・小学校教諭 1 名
- ・自営業 1 名
- ・大雪ボランティア 1 名
- ・スポーツインストラクター 1 名

集団登山 上級指導者研修会 2018.7.14(土)-16(月) 2泊3日

□ 開催 平野町の山行に慣れた者同士で、指導者の役をまかすロープワークやセルフレスキューの方法など、安全な集団登山に必要な知識と技術を身につける機会とします。

□ 対象・定員 登山を含む野外活動にたいして指導及び指導補助に携わる 18 歳以上の方 / 20 名

□ 登山コース 翠岳台～高尾岳 (標高 2,052m)～高尾富士 (標高 1,888m)～オプテマシケ山 (ダント泊を予定) (標高 2,012m)

□ 費用 (予定) 4,160 円 (保険代・シャツ代・食料代)

□ 講師 (予定) 滝澤 大徳 氏 (日本山岳ガイド協会認定登山ガイド、日本スポーツ協会、日本山岳・スポーツクライミング協会認定登山・救助指導員)

□ 主催 (予定) 国立大器青少年交流の家職員

□ 内容 (予定) 【1 日目】13:00 受付
 ①「多様な登山道の歩行」(説明)
 ②「危急時の装備と対応」(講義・演習)
 ③「悪場の選別とロープワーク」(講義・演習)
 【2-3 日目】④「安全な集団登山の実践」(演習)
 ※少雨決行、15:45 帰館

西馬氏 ★★★★★

プログラム (天候の影響により日程内容を大幅に変更)

演習「ロープワークと悪場の通過」・・・(90 分)
 ・屋外で、基本的なロープの結び方や、悪場を想定した、有効なロープの使い方などの演習を行った。

講義「遭難事故の発生～緊急避難と露営」・・・(90 分)
 ・ピバークが必要になる気象状況や、必要な装備などについて学び、状況の正確な観察や判断の重要性について意識を高めた。

講義「遭難事故の発生～捜索・救助・対策」・・・(120 分)
 ・事故発生時の連絡先や内容、事後の諸手続きなどについて、指導者自身が遭難しないようにすることの大切さ、セルフレスキューの方法について学んだ。



講義・演習「各装備品の扱いと準備について」・・・(120分)
 ・ピバーク時のツェルト等の利用方法、熊撃退スプレーの使用
 方法を確かめたり、食料や着替え、ファストエイドキット
 などの携行品の種類や量などについて、参加者同士のザック
 を持ち寄って比べることで、よりよい準備についての意識を
 高めたりした。



演習「安全な集団登山の実施」・・・(300分)
 ・十勝岳中腹から片道2時間半ほどの登山を行った。リーダ
 ー役を交代しながら、どのような場所で、どのような声かけ
 が必要かを確かめながら、演習を行った。

まとめ・・・(30分)
 ・施設に戻り、演習のふりかえりを行った。

山泊を中止したため、期間中に自炊活動を2度実施。

成果

常に、指導者として参加者の安全への意識や、緊急時でも冷
 静に集団をリードできる心構えやスキルを高めていく必要性
 を強く印象付けられた。



参加者それぞれが、自分のスキルや装備品などについて
 課題となる部分に気づくことができた。

登山の演習では、リーダー役と参加者役の両方の立場を
 経験し、感想を言い合うことで、指導者に求められる考
 え方や、よりよい伝え方を実践的に学ぶことができた。



参加者の声

大変有意義な3日間でした。ありがとうございました。
 基礎より勉強、再勉強ができる機会を与えて頂き、誠に
 ありがとうございます。
 上級指導者としてしまうより、個人のスキルアップとし
 た方が参加しやすいのではないだろうか。

事業運営のツボ・工夫・反省

・日帰り登山を行った「登山指導者研修会」の参加者3名
 が、この事業にも参加して、指導者としての研鑽を積む機会と
 していただいた。
 ・上級という言葉のイメージから、申込をためらった方がいた
 ようだったので、参加対象やプログラム内容について、もっと
 詳しく伝える工夫が必要。
 ・天候の影響で、山泊が中止になるなど、大幅な日程変更とな
 ったが、日帰り登山の研修には無かったプログラムを実施し、
 参加者がそれぞれに安全のためのスキルや意識を高められた。
 ・今回は、地元山岳会などとの共催で、事業ができないかを
 検討する。



事業運営費	合計	257,929円	
講師謝金・旅費		91,240円	
職員実地踏査旅費		15,600円	チラシ郵送費
チラシ印刷代		103,118円	47,971円

印刷代、郵送費については全登山登山事業(6事業)共通)